

第 41 期



私たちはお客様の夢を実現する
ソリューション・カンパニーを目指しています
お客様の業務改革を支えるのは、大胆で独創的な発想力、そして、迅速な対応力

第1四半期 決算短信補足資料 2020



2020年5月8日
SOLXYZ
株式会社ソルクシーズ

経営の基本方針

当社グループは最新の情報技術（IT）を駆使し、お客様にご満足頂ける最適なITソリューションを提供することを基本方針とし、この方針に沿った継続的な努力により社業の拡大・発展を期します。また、最適なITソリューションの提供を通じ、社会に貢献することを会社の使命といたします。

経営のモットー

「愛と夢のある企業」を目指します。合理性に裏打ちされた厳しさは当然必要ですが、ともすれば合理性に偏重しがちなソフトウェア開発が仕事の中心であればこそ、その経営には愛と夢が必要と考えます。

経営理念

1. 高い技術力を持ち社会に貢献する
2. お客様に最高の満足を提供する
3. 皆が夢を持ち続けられる企業をめざす
4. 新ビジネス・新技術へチャレンジする
5. グローバル企業をめざす

激変する業務環境、根底から変わりつつある業務構造に合わせ、私たち自身の意識、スキル、業務プロセスを変えてまいります。若いメンバーからなる組織のまとまりを活かし、スピードを大事にしながら、大胆な発想の下、変化に果敢に挑戦し続けます。また、こうした姿勢があってはじめて同じような状況におかれているお客様の変革を支えることが出来るものと確信しております。

ソルクシーズの歩み



2020年度 第1四半期 実績

2020年度 第1四半期概況	・・・・・・・・・・・・・・・・	1
連結業績の推移（過去5年間）	・・・・・・・・・・・・・・・・	2
要約連結貸借対照表（5ヶ年推移）	・・・・・・・・・・・・・・・・	3
要約連結貸借対照表（前期末比増減）	・・・・・・・・・・・・・・・・	4
企業集団の状況	・・・・・・・・・・・・・・・・	5, 6
当社の強み	・・・・・・・・・・・・・・・・	7, 8

2020年度 計画

2020年度取り組み方針	・・・・・・・・・・・・・・・・	9
2020年度通期業績予想（連結）	・・・・・・・・・・・・・・・・	10
※ 2020年1月31日発表の連結業績予想と同一内容です		

資料

株主の状況	・・・・・・・・・・・・・・・・	11
会社情報	・・・・・・・・・・・・・・・・	12

第1四半期実績サマリー

ソルクシーズ

- 金融系は銀行系の顧客におけるFinTech開発が伸長し、増収増益
- 産業系は通信系の開発案件が一部減少し、全体としても減収減益傾向
- ソリューション系のFleekdriveのライセンス売り上げは堅調に推移
- テレワークの採用拡大による機器販売の案件は引き合いが伸びたものの、物資不足により納入・検収が遅れ、収益貢献には至らず、前期特需と比較すると、減少
- 経済活動の緊縮による影響は第1四半期では顕在化せず

グループ会社

- エクスマーシオン
CASE案件の引き合いは順調。教育関連がテレワークの影響により減少
- イー・アイ・ソル
状態監視／予知保全システムの引き合いが伸長なるも、検収ズレが発生。また、一部製造系の顧客による案件延伸の影響あり
- Fleekdrive
テレワークの採用拡大により契約数が伸長

	2019年12月期 第1四半期実績	2020年12月期 第1四半期実績	前期比 伸び率
売上高	3,307	3,150	△4.7%
営業利益	147	147	△0.2%
四半期純利益	89	96	8.1%

足元の事業環境

ソルクシーズ

- 金融系のシステム開発の引き合いは、銀行、クレジットを中心に伸長する見込み
- クレジット向け大規模案件が今年度も継続予定となり、他ベンダー分の巻取りも予定
- クレジット向け案件はキャッシュレス化を背景にICT投資が堅調となる見込み
→QRコード決済との連携、PCIDSS等のセキュリティ強化、新規カードの発行、既存システムの更改など
- 産業系は、引き続き横這い傾向

グループ会社

- エクスマーシオン
引き合いは順調なものの、要員不足状態。今年度予定のコンテンツ構築のための投資活動に注力
- イー・アイ・ソル
計測系／制御系の受託開発の引き合いは順調。状態監視／予知保全システムの引き合いも増加傾向
- ノイマン
9月にベトナム向けEラーニングシステムが稼働予定だったが、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、ベトナムにおける開発活動が一時STOP
- Fleekdrive
解約率低減の為にカスタマーサクセスチームが稼働し、当初目論見を達成

その他

注力する領域の状況

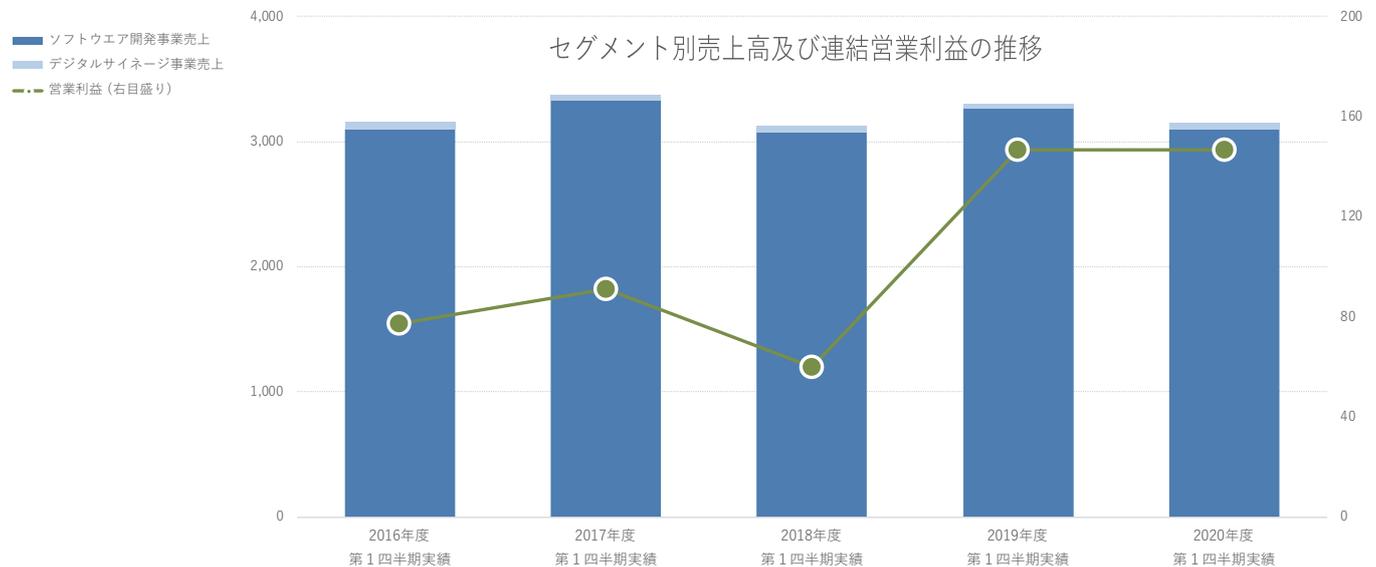
- FinTech**
SBIの事業支援を継続。SBIグループ各社のFinTech系の企業に要員派遣を継続
- CASE**
エクスマーシオンが自動車各社に対してソフトウェア設計の支援を継続。CASEの内、自動運転、EV、コネクティビティが中心
- IoT**
EISOLが状態監視／予知保全システムを推進。本体における見守りシステムも引き続き推進
- Cloud**
Fleekdrive中心。Fleekdriveを土台にして機能拡充を図り、ERPとして訴求出来る製品に育てる
- AI**
(株)アックスの知見を活かして、顧客への提案活動に繋げる

新型コロナウイルス（COVID-19）の影響など

- 本体事業への影響
開発中止や延期は発生していないため影響は無いが、2Q以降（4月以降）は影響が発生する可能性あり
- グループ会社事業への影響
EISOLの顧客に製造業が多く、今後影響が出る可能性あり（現在は無し）。エクスマーシオンの教育事業が三密防止の動きにより、多数中止。ノイマンの自動車教習所事業について営業自粛の影響がある一方、学校の休校に伴うKojiro（塾向けEラーニング）の引き合いが増加。テレワーク需要を取り込み、Fleekdriveの引き合いも増加。
- 感染者の発生等
グループ各社、協力会社を含め、感染者の発生は無し

連結業績の推移(過去5年間)

	2016年度 第1四半期実績		2017年度 第1四半期実績		2018年度 第1四半期実績		2019年度 第1四半期実績		2020年度 第1四半期実績		
	金額	売上高比	前年同期比								
売上高	3,160	100.0%	3,373	100.0%	3,130	100.0%	3,307	100.0%	3,150	100.0%	△4.7%
ソフトウェア開発事業	3,099	98.1%	3,335	98.9%	3,077	98.3%	3,272	99.0%	3,098	98.3%	△5.3%
デジタルサイネージ事業	61	1.9%	38	1.1%	52	1.7%	34	1.0%	52	1.7%	53.5%
売上原価	2,631	83.3%	2,774	82.2%	2,568	82.0%	2,624	79.3%	2,467	78.3%	△6.0%
売上総利益	529	16.7%	599	17.8%	562	18.0%	683	20.7%	683	21.7%	0.0%
販売管理費	451	14.3%	507	15.0%	501	16.0%	535	16.2%	535	17.0%	0.1%
営業利益	77	2.4%	91	2.7%	60	1.9%	147	4.5%	147	4.7%	△0.2%
営業外損益	△21	△0.7%	7	0.2%	△1	△0.0%	0	0.0%	9	0.3%	n.a.
経常利益	55	1.8%	99	2.9%	59	1.9%	148	4.5%	156	5.0%	5.7%
特別損益	△0	△0.0%	0	0.0%	0	△0.0%	2	0.1%	0	△0.0%	n.a.
税金等調整前四半期純利益	55	1.8%	99	2.9%	59	1.9%	150	4.6%	156	5.0%	3.7%
法人税等・法人税等調整額	69	2.2%	56	1.7%	51	1.6%	53	1.6%	50	1.6%	△4.4%
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	0.0%	0	△0.0%	0	0.0%	8	0.3%	9	0.3%	8.6%
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△13	△0.4%	42	1.3%	7	0.2%	89	2.7%	96	3.1%	8.1%



	2016年 3月末	2017年 3月末	2018年 3月末	2019年 3月末	2020年 3月末
純資産額 (前期末比) (百万円)	3,918 (+909)	4,225 (+305)	4,754 (+529)	6,469 (+1,715)	6,118 (△350)
総資産額 (前期末比) (百万円)	9,011 (+1,211)	9,769 (+757)	10,689 (+920)	12,632 (+1,942)	11,300 (△1,332)
1株当たり純資産額 (円)	318.37	343.18	377.49	475.32	457.23
1株当たり四半期純利益又は 1株当たり四半期純損失(△) (円)	△1.15	3.56	0.63	7.16	8.05
自己資本比率 (%)	42.5	42.3	43.5	46.8	48.4

要約連結貸借対照表(5ヶ年推移)

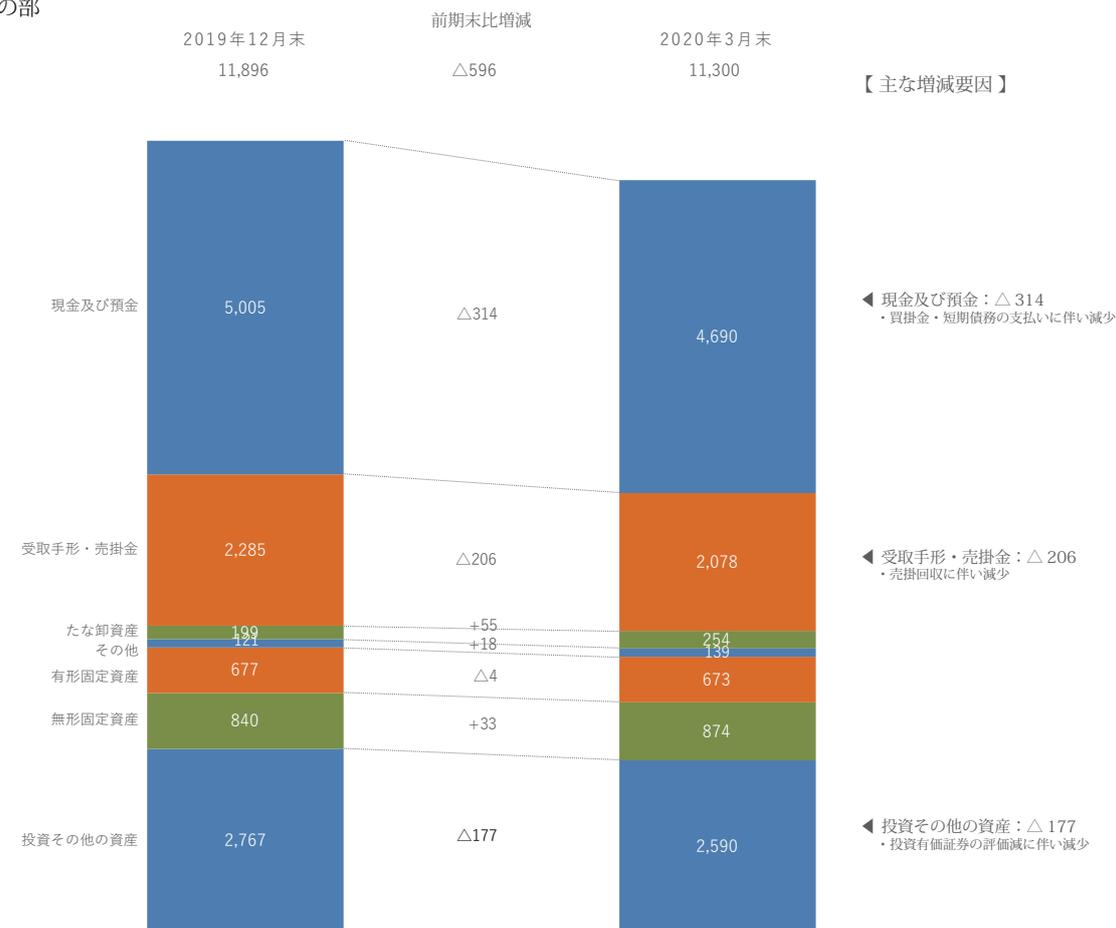
	2016年3月末		2017年3月末		2018年3月末		2019年3月末		2019年12月末		2020年3月末			
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	前期末比 増減	前期末比 増減率
【資産の部】														
I 流動資産	5,172	57.4%	5,825	59.6%	6,866	64.2%	8,242	65.2%	7,611	64.0%	7,163	63.4%	△ 447	△ 5.9%
1. 現金及び預金	1,691		2,272		3,775		5,674		5,005		4,690		△ 314	△ 6.3%
2. 受取手形・売掛金 (注1)	2,120		2,980		2,338		2,130		2,285		2,078		△ 206	△ 9.0%
3. 有価証券	1,003		0		0		0		0		0		0	n.a.
4. たな卸資産	253		442		560		311		199		254		55	27.7%
5. その他	103		128		191		125		121		139		18	14.9%
II 固定資産	3,839	42.6%	3,944	40.4%	3,823	35.8%	4,390	34.8%	4,285	36.0%	4,137	36.6%	△ 148	△ 3.5%
1. 有形固定資産	556	6.2%	550	5.6%	561	5.3%	642	5.1%	677	5.7%	673	6.0%	△ 4	△ 0.6%
2. 無形固定資産	1,014	11.3%	1,134	11.6%	1,075	10.1%	654	5.2%	840	7.1%	874	7.7%	33	4.0%
(1) のれん	220		176		132		88		59		48		△ 11	△ 19.0%
(2) ソフトウェア	792		956		941		564		779		824		44	5.8%
(3) その他	2		2		1		1		1		1		0	△ 0.2%
3. 投資その他の資産	2,268	25.2%	2,260	23.1%	2,187	20.5%	3,093	24.5%	2,767	23.3%	2,590	22.9%	△ 177	△ 6.4%
(1) 投資有価証券	1,564		1,496		1,210		1,971		1,862		1,525		△ 337	△ 18.1%
(2) その他	704		763		976		1,122		905		1,064		159	17.6%
資産合計	9,011	100.0%	9,769	100.0%	10,689	100.0%	12,632	100.0%	11,896	100.0%	11,300	100.0%	△ 596	△ 5.0%
【負債の部】														
I 流動負債	2,855	31.7%	3,132	32.1%	3,131	29.3%	3,218	25.5%	2,745	23.1%	2,498	22.1%	△ 246	△ 9.0%
1. 支払手形・買掛金	734		693		998		912		614		544		△ 70	△ 11.4%
2. 短期借入金	873		970		804		820		840		680		△ 160	△ 19.0%
3. 1年以内返済予定長期借入金	582		518		529		492		364		346		△ 17	△ 4.9%
4. その他	664		950		798		993		927		928		1	0.1%
II 固定負債	2,237	24.8%	2,412	24.7%	2,804	26.2%	2,945	23.3%	2,695	22.7%	2,682	23.7%	△ 13	△ 0.5%
1. 長期借入金	545		500		799		911		707		754		47	6.7%
2. 退職給付に係る負債	1,489		1,665		1,742		1,773		1,718		1,715		△ 3	△ 0.2%
3. 役員退職慰労引当金	177		193		212		215		234		179		△ 55	△ 23.5%
4. その他	24		52		50		44		35		33		△ 2	△ 6.6%
負債合計	5,093	56.5%	5,544	56.8%	5,935	55.5%	6,163	48.8%	5,441	45.7%	5,181	45.9%	△ 259	△ 4.8%
【純資産の部】														
I 株主資本	3,697	41.0%	4,021	41.2%	4,444	41.6%	5,122	40.5%	5,101	42.9%	5,006	44.3%	△ 95	△ 1.9%
1. 資本金	1,494		1,494		1,494		1,494		1,494		1,494		0	0.0%
2. 資本剰余金	1,699		1,699		1,736		2,333		2,295		2,309		14	0.6%
3. 利益剰余金	1,015		1,339		1,616		1,658		2,136		2,041		△ 95	△ 4.4%
4. 自己株式	△ 511		△ 511		△ 402		△ 364		△ 825		△ 839		△ 14	1.7%
II その他の包括利益累計額	134	1.5%	109	1.1%	209	2.0%	788	6.2%	693	5.8%	462	4.1%	△ 231	△ 33.3%
1. 評価差額金	185		206		281		825		654		423		△ 231	△ 35.3%
2. 為替換算調整勘定	△ 10		0		0		0		0		0		0	n.a.
3. 退職給付に係る調整累計額	△ 40		△ 97		△ 71		△ 37		38		39		0	0.4%
III 新株予約権	6	0.1%	10	0.1%	8	0.1%	3	0.0%	3	0.0%	3	0.0%	0	△ 1.1%
IV 非支配株主持分	79	0.9%	83	0.9%	90	0.9%	554	4.4%	657	5.5%	647	5.7%	△ 9	△ 1.5%
純資産合計	3,918	43.5%	4,225	43.2%	4,754	44.5%	6,469	51.2%	6,455	54.3%	6,118	54.1%	△ 336	△ 5.2%
負債・純資産合計	9,011	100.0%	9,769	100.0%	10,689	100.0%	12,632	100.0%	11,896	100.0%	11,300	100.0%	△ 596	△ 5.0%

(注1) 進行基準の売上高に対する未収入金を含む。

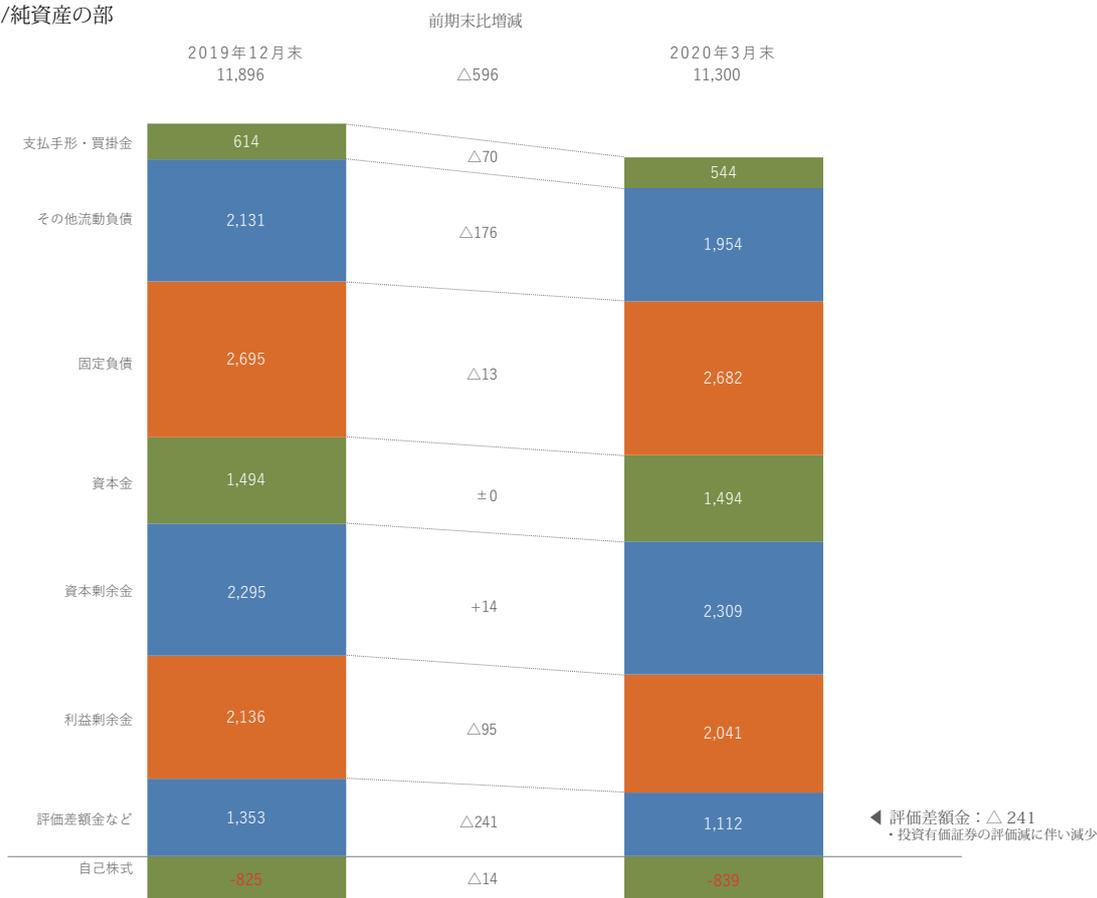
要約連結貸借対照表(前期末比増減)

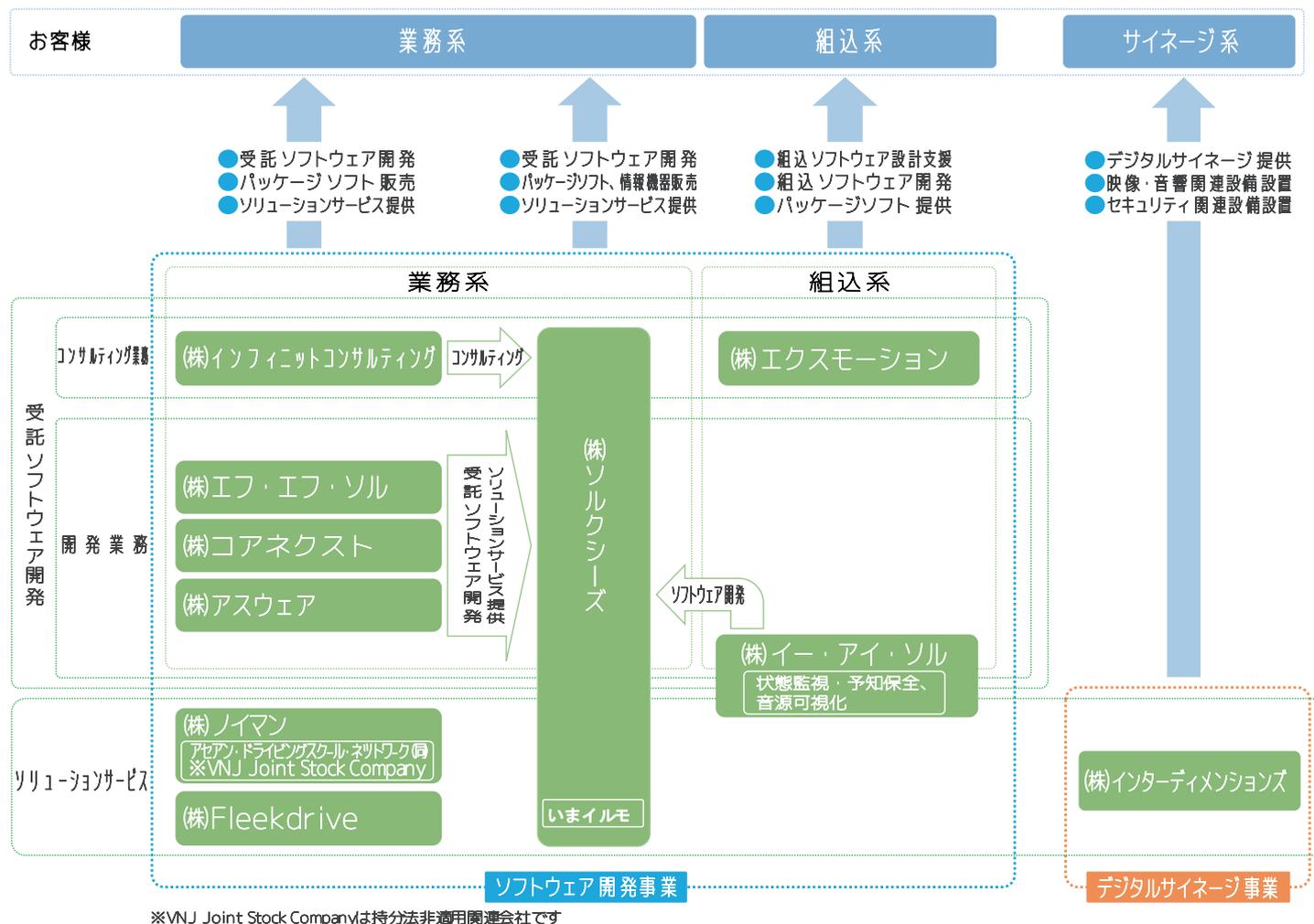
- 総資産は前期末比 596 百万円減少し、11,300 百万円となりました
- 純資産は前期末比 336 百万円減少し、6,118 百万円となりました

資産の部



負債/純資産の部





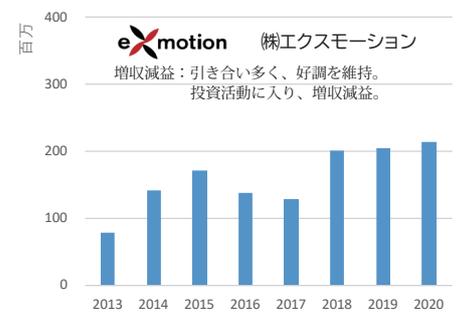
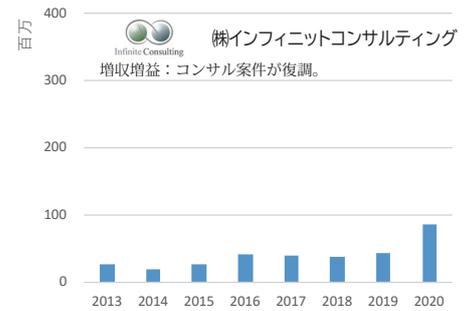
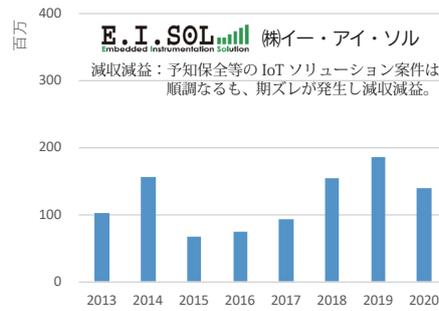
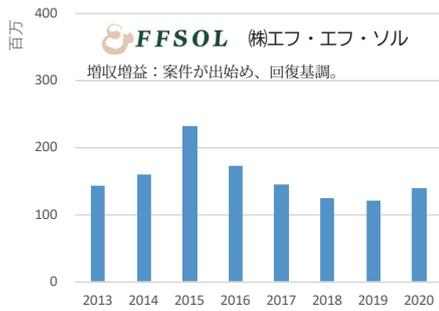
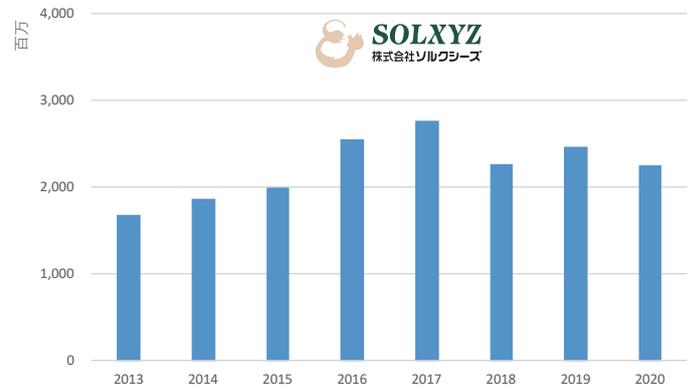
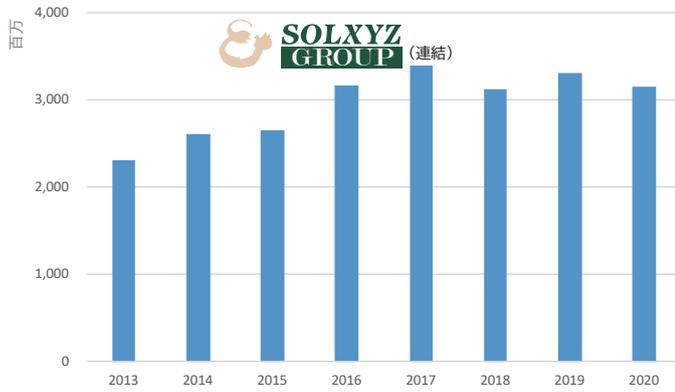
【連結対象子会社】

2019年12月末現在

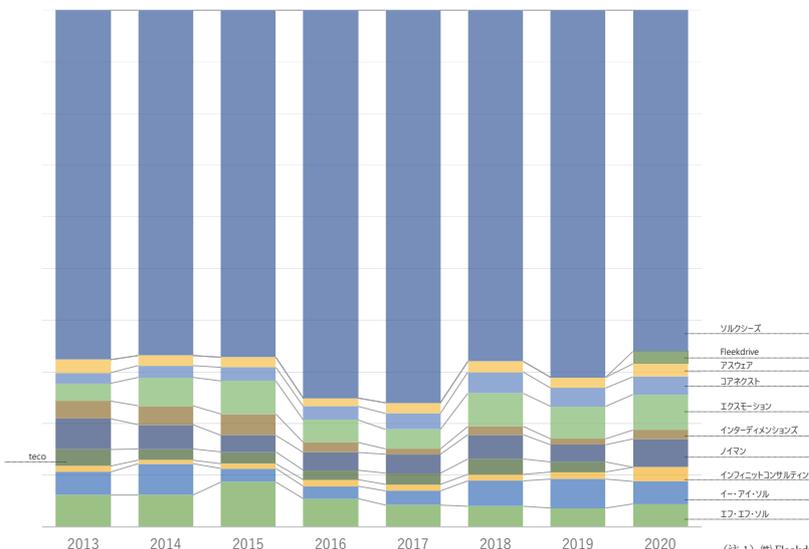
会社名	主な事業の内容	主な顧客	設立年月 (取得年月) (注1)	資本金	出資比率
(株)エフ・エフ・ソル	銀行系に特化した受託ソフトウェア開発	ネット系銀行、都市銀行、地方銀行	2003年3月	128百万円	95.9%
(株)イー・アイ・ソル	組込・制御・計測関連ソフトの開発、販売、その他サービス業務	装置系製造企業、計測機器企業	2005年12月	30百万円	100.0%
(株)インフィニットコンサルティンク	システム開発の上流工程におけるコンサルティンクサービス	証券会社、電気メーカー、医療系企業	2007年5月	30百万円	100.0%
(株)ノイマン (注2)	自動車教習所向け各種ソリューション提供 WEBマーケティングに関するコンサル・企画	全国の自動車教習所等 (シェア6割以上)	1984年9月 (2007年11月)	245百万円	100.0%
(株)インターディメンジョンズ	ディスプレイ、映像配信システムを活用したデジタルサインージ及び映像コンテンツ制作	商業施設、文教自治体、各種不動産店舗	1978年1月 (2008年3月)	20百万円	100.0%
(株)エクスモーション	自動車メーカーや医療機器メーカー等へのソフトウェアエンジニアリングを活用した実践的なコンサルティンク	自動車メーカー、医療機器メーカー	2008年9月	436百万円	57.2%
(株)コアナキスト	投資顧問業向け等、証券バイサイドの受託ソフトウェア開発	投資信託、投資顧問	2009年12月	9百万円	100.0%
(株)アスウェア	ICTインフラの企画・構築・保守	SIベンダー、通信系企業	2010年11月	9百万円	100.0%
(株)Fleekdrive	ファイル共有で業務を変える、チームを繋げる企業向けクラウドストレージの提供	全業種	2019年5月	50百万円	100.0%
アセアン・ドライビングスクール・ネットワーク(同)	ノイマンの各種ソリューションをベトナムに展開するための支援	—	2015年10月	1百万円	75.7%

(注1) 買収等により連結子会社となった会社については、取得年月を()内に記載しております。
 (注2) 2019年12月1日付けにて(株)ノイマンを存続会社、(株)tecoを消滅会社とする吸収合併を行っております。
 (注3) アセアン・ドライビングスクール・ネットワーク(同)は、営業実績がありませんので記載を省略しております。
 (注4) (株)ソルクシーズと(株)ノイマンの合計比率です。

企業集団の業績概況・売上推移

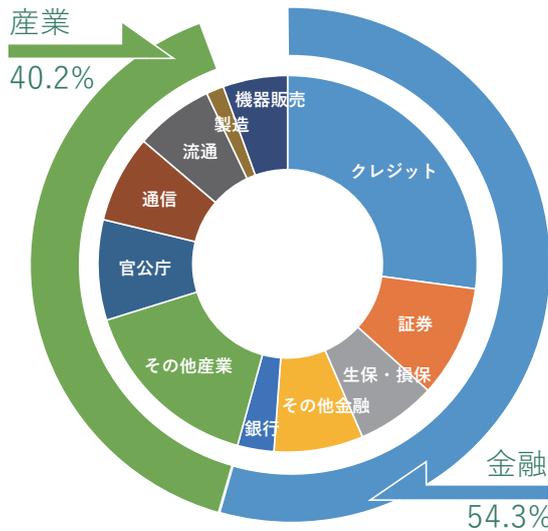
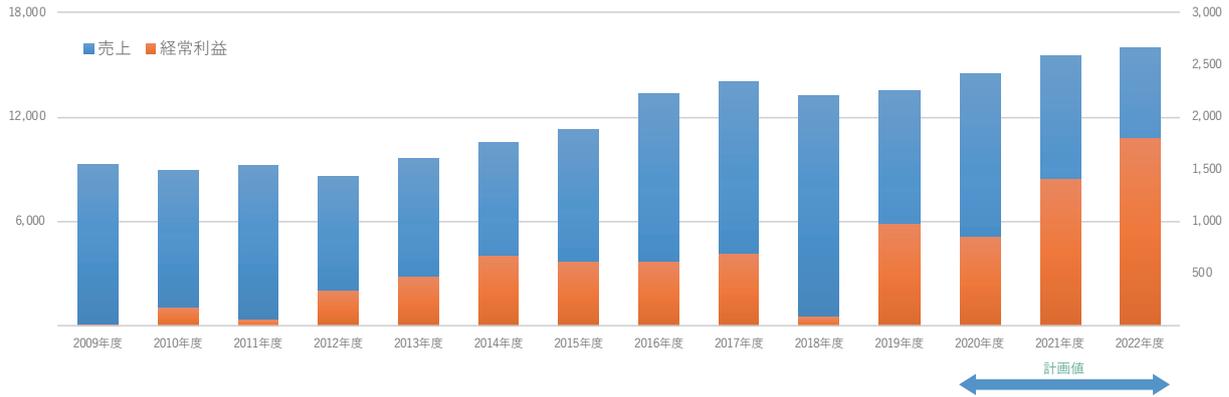


企業集団の売上割合の推移



(注1) 株 Fleekdrive は 2019 年 12 月期中に営業開始していますので、2020 年より対象としています。
(注2) 株 teco は 2019 年 12 月 1 日付けで消滅しましたが、2019 年以前のデータは残っています。

1 安定的な経営基盤



継続的な増収増益

サブプライムローン問題や大震災などを起因とする経済不況を乗り越え、2019年はV字回復を実現し、増収増益を継続

強固な顧客基盤

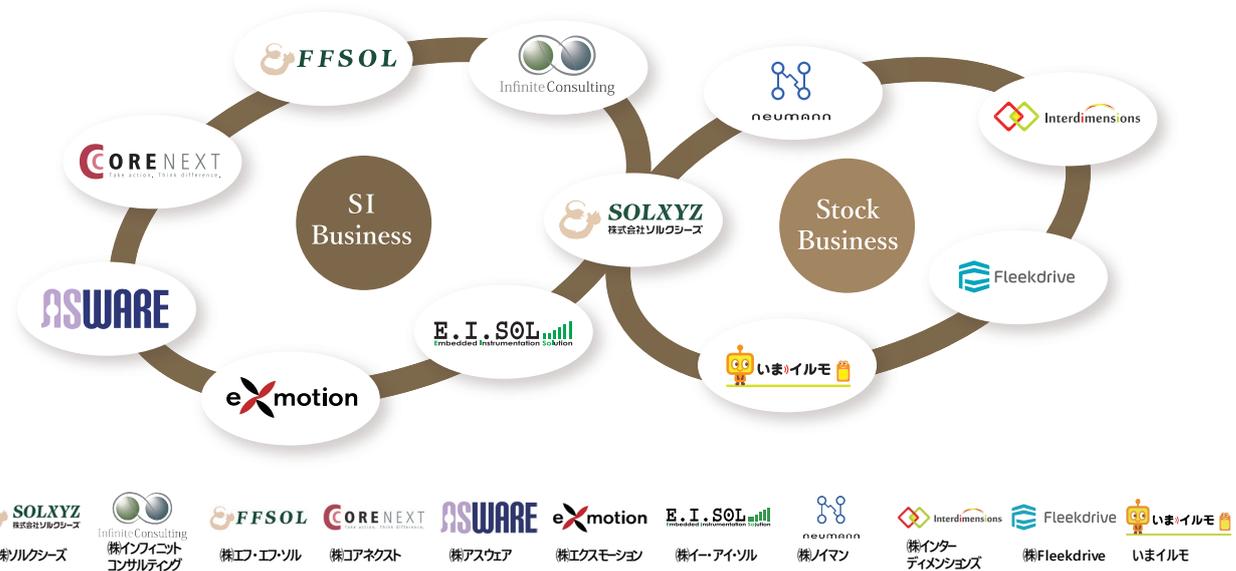
直接ご支援させて頂いている金融業界のお客様を主軸に、各方面のお客様とお取引を長年に亘り継続

注：グラフは個別の数値です

2 多彩なグループ構成

SIビジネスとストック型ビジネスの両輪で顧客のビジネスを支援

システム構築をワンストップで支援。インフラ構築からシステム企画・設計・開発、更にクラウドを始めとする各種サービス・ソリューションの提供など、様々な要望に対応

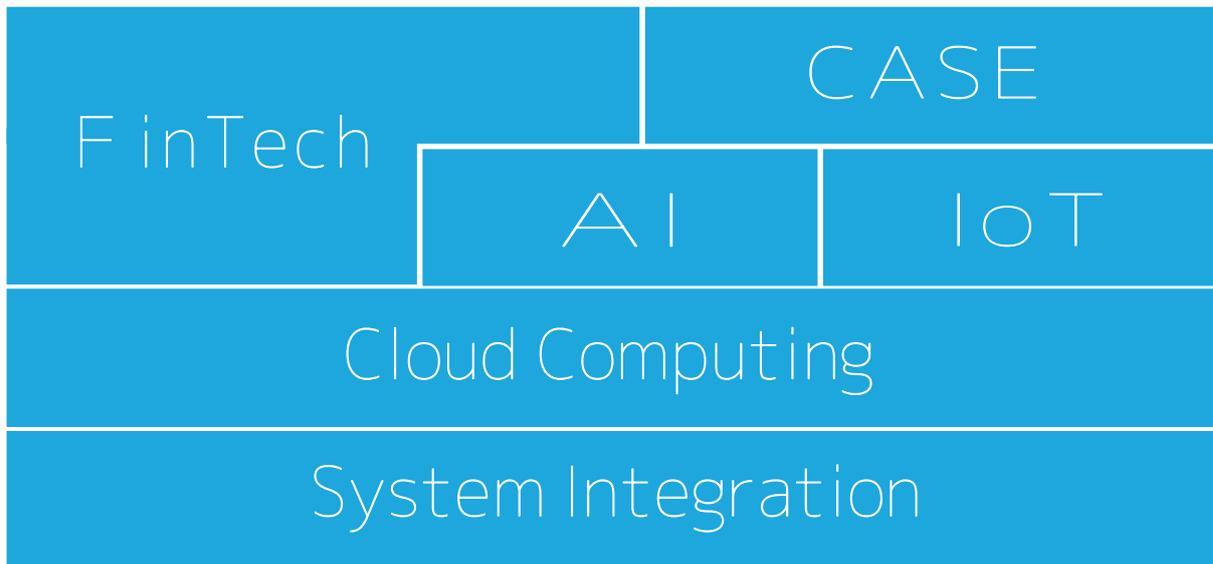


株式会社ソルクシーズ 株ソルクシーズ	Infinite Consulting 株インフィニット コンサルテイング	FFSOL 株エフ・エフ・ソール	CORENEXT 株コアネクスト	ASWARE 株アスウェア	eXmotion 株エクスモーション	E.I.SOL 株イー・アイ・ソール	neumann 株ノイマン	Interdimensions 株インター ディメンションズ	Fleekdrive 株Fleekdrive	いまマイルモ
-----------------------	---	---------------------	---------------------	------------------	-----------------------	-----------------------	------------------	--------------------------------------	---------------------------	--------

各業種に特化したITサービスとソリューションの提供	システムの企画・提案に関するコンサルテイング、システムマネジメント支援	銀行を中心としたソフトウェア受託開発事業、オープン系パッケージソフトの開発・販売	投資信託・投資顧問会社向けのシステム開発、コンサルテイングサービス	ICTインフラ分野のコンサルティングから提案・設計・構築	オブジェクト指向技術を用いた組込システムの開発・プロジェクト支援、人材育成のサポートなど実践型コンサルテーション	組込・制御・計測系を中心としたソフトウェア受託開発、ソリューションの開発・販売	自動車教習所向け各種ソリューション開発・販売。小・中学生向けeラーニングの販売。WEBマーケティング支援等。	映像・音響・監視カメラなどのセキュリティサービス及びコンテンツ配信、デジタルサイネージのコンテンツ作成・企画	企業向けクラウド型ファイル共有、WEB投票サービスの販売	一般消費者及び施設向け複数センサーによる見守りシステム
---------------------------	-------------------------------------	--	-----------------------------------	------------------------------	--	---	--	--	------------------------------	-----------------------------

3 成長分野への積極投資

様々な領域に必要とされる新しい分野に向けて、積極的にビジネスを展開



4 3つの成長戦略により業績向上



環境認識

1 クラウドサービスのニーズの高まり

単独のクラウドサービスの利用だけではなく、クラウドサービスを連携させた利用形態など、企業のクラウドの利用方法が多様化しています。更に、IoTやAIシステム向けのクラウドサービスが始まり、今後はクラウドファーストが一般化します。

2 IoTの活用

業種・業界を問わず、様々な企業がIoTへのIT投資に意欲的になっており、業務効率化やコスト削減を目的としたIoTの利用から、IoTを活用した新しいビジネスの創出にステージが変わりました。既に、IoTによって収集したビックデータの分析・解析にAIを活用したサービスも始まっています。

3 自動車環境の更なる進化- CASEへと拡張

2020年以降、自動運転レベル3の車両が増え、一般化していきます。また、次世代コックピットやスマートミラーなどの既存機能のスマート化や、車載センサーがクラウドに接続されるコネクテッドカーも市場に投入され、自動車を取り巻く環境が益々変化を遂げていきます。

4 FinTechの実用化

個人のネット決済や口座管理などの利用から、金融機関がサービスする、国内外送金システムへの活用などに、利用の範囲が広がりました。今後はブロックチェーンを核にした様々な業界・業務向けのサービスや、仮想通貨を用いた新たな資金調達手段であるICOなどの新しいサービスが市場に提供されていきます。

5 AI利用の本格化

機械学習をベースとした、クラウド型AIやAIスピーカーが個人向けに各社からリリースされ、AIの認知度が高まってきました。今後は、推論型の本格的なAIが企業のサービスに組み込まれたり、働き方改革の実現に向けてAIを活用したRPAの導入が進んでいきます。

基本方針

1 クラウドサービスの強化・推進

グループ会社として独立した㈱Fleekdriveが提供するオンラインストレージサービス「Fleekdrive」、クラウド帳票サービス「Fleekform」を核に、他のサービスとの連携やAIを活用した新たなサービスの創出を行います。また、引き続き、海外市場の開拓・拡大を図ります。

2 IoTの取り組み強化

IoT推進室が中心となり、グループが持っているセンサーを利用したサービスを組み合わせ、ソリューションを創出していきます。また、「いまイルモ」・「TUNNEL EYE」・「状態監視／予知保全システム」などの既存ソリューションについても、拡販に向けた活動を強化します。

3 CASEの取り組み強化

グループ会社を中心とした自動車業界への支援体制を深堀し、また、新たな事業領域に向けた投資活動なども行い、これまでの知見を活かした事業を行う方針です。また、これまで以上に、グループ全体の管理体制を強化し、事業領域の拡大に準備していきます。

4 FinTechの取り組み推進

FinTech関連の開発案件の獲得を目的とした技術協力を中心に、ブロックチェーンやバーチャルカレンシーに関する開発案件へ参画を継続しています。銀行業務向けを手始めに、証券業務向けも始まり、更には他の金融分野での取り組みも視野に入れた活動を行っていきます。

5 AIの取り組み推進

資本参加により、AIのサービス化が可能となっています。自社開発のクラウドサービスとのシナジーや、これまでのユーザーに対するAI活用の提案などを継続していきます。

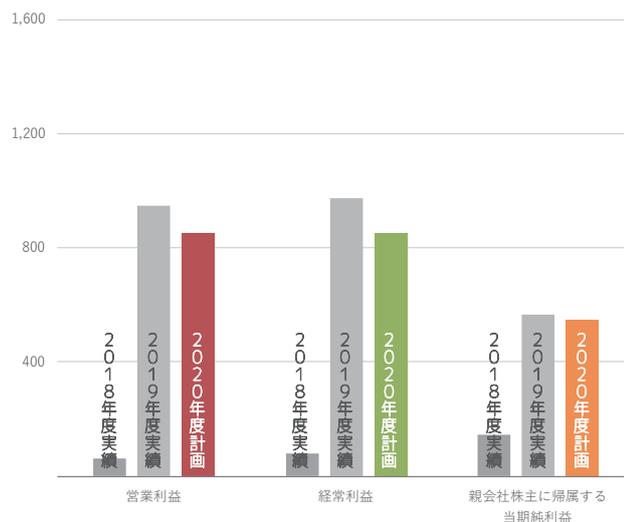
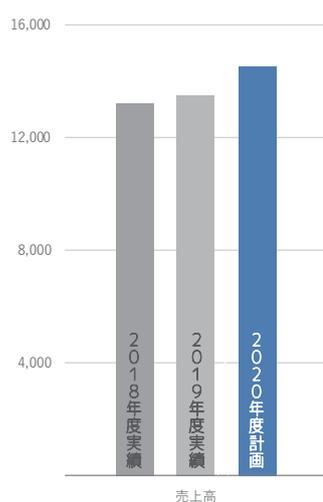
2020年度通期業績予想(連結)

2020年度連結業績予想は、2019年度実績に対して低いものとなっております。これは、グループ会社の投資活動等によるものであり、更なる成長を企図するために2020年度は準備の年として計画しております。

また、新型コロナウイルス感染症による影響は不可避と見られますが、現時点では影響の大きさを評価することが困難であるため、第2四半期累計期間及び通期の連結業績予想については変更していません。

(金額:百万円)

通期	2018年度実績		2019年度実績		2020年度計画			
	金額	売上高比	金額	売上高比	金額	売上高比	前期比伸び率	
売上高	13,228	100.0%	13,478	100.0%	14,500	100.0%	7.6%	
ソフトウェア開発事業	SI/受託開発	84.6%	86.0%	11,585	86.0%	11,874	81.9%	2.5%
	ソリューション	11.7%	11.6%	1,567	11.6%	2,182	15.0%	39.2%
デジタルサイネージ事業	481	3.6%	325	2.4%	444	3.1%	36.3%	
売上原価	11,033	83.4%	10,408	77.2%	11,350	78.3%	9.0%	
売上総利益	2,194	16.6%	3,070	22.8%	3,150	21.7%	2.6%	
販売管理費	2,131	16.1%	2,123	15.8%	2,300	15.9%	8.3%	
営業利益	63	0.5%	946	7.0%	850	5.9%	△10.2%	
経常利益	78	0.6%	975	7.2%	850	5.9%	△12.9%	
親会社株主に帰属する当期純利益	147	1.1%	567	4.2%	550	3.8%	△3.1%	



(金額:百万円)

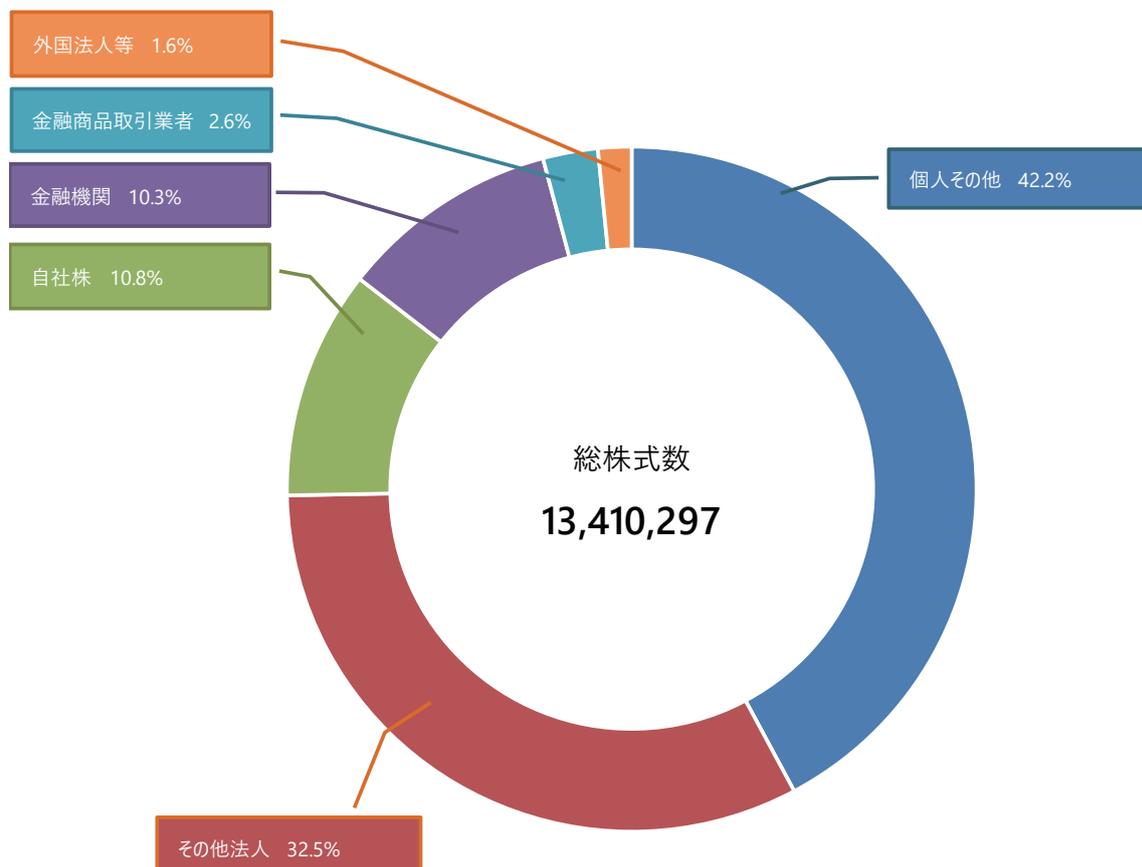
中間期	2018年度実績		2019年度実績		2020年度計画			
	金額	売上高比	金額	売上高比	金額	売上高比	前期比伸び率	
売上高	6,446	100.0%	6,654	100.0%	7,000	100.0%	5.2%	
ソフトウェア開発事業	SI/受託開発	87.4%	86.8%	5,774	86.8%	5,826	83.2%	0.9%
	ソリューション	9.5%	10.6%	706	10.6%	963	13.8%	36.3%
デジタルサイネージ事業	200	3.1%	173	2.6%	211	3.0%	21.7%	
売上原価	5,198	80.6%	5,179	77.8%	5,450	77.9%	5.2%	
売上総利益	1,248	19.4%	1,475	22.2%	1,550	22.1%	5.1%	
販売管理費	1,026	15.9%	1,106	16.6%	1,200	17.1%	8.4%	
営業利益	221	3.4%	368	5.5%	350	5.0%	△5.0%	
経常利益	229	3.6%	375	5.6%	350	5.0%	△6.9%	
親会社株主に帰属する当期純利益	126	2.0%	216	3.3%	230	3.3%	6.3%	

大株主の状況

2019年12月31日現在

氏名又は名称	所有株式数 (千株)	発行済株式総数 に対する所有株式 数の割合(%)
SBIホールディングス株式会社	2,150	16.0%
自社株	1,450	10.8%
株式会社ビット・エイ	1,320	9.8%
長尾 章	559	4.2%
株式会社ヤクルト本社	530	4.0%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	347	2.6%
従業員持株会	237	1.8%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	213	1.6%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	167	1.3%
豊田通商株式会社	134	1.0%
その他	6,300	47.0%
計	13,410	100.0%

所有者別の状況(主体別所有者株式数)



会社概要

社名	株式会社ソルクシーズ
設立	1981年2月4日
資本金	14億9,450万円
事業内容	SI/受託開発業務（システムコンサルティング、システムの設計・開発・運用・保守）、ソリューション業務（セキュリティコンサルティング、パッケージシステムの開発・販売・保守）及び関連機器の販売等
所在地	本社 〒108-0023 東京都港区芝浦三丁目1番21号 Tel 03-6722-5011（代表） Fax 03-6722-5021 東京 ANNEX 〒108-0022 東京都港区海岸三丁目9番15号 福岡営業所 〒812-0038 福岡県福岡市博多区祇園町四丁目2番 Tel 092-283-8411 Fax 092-283-8412

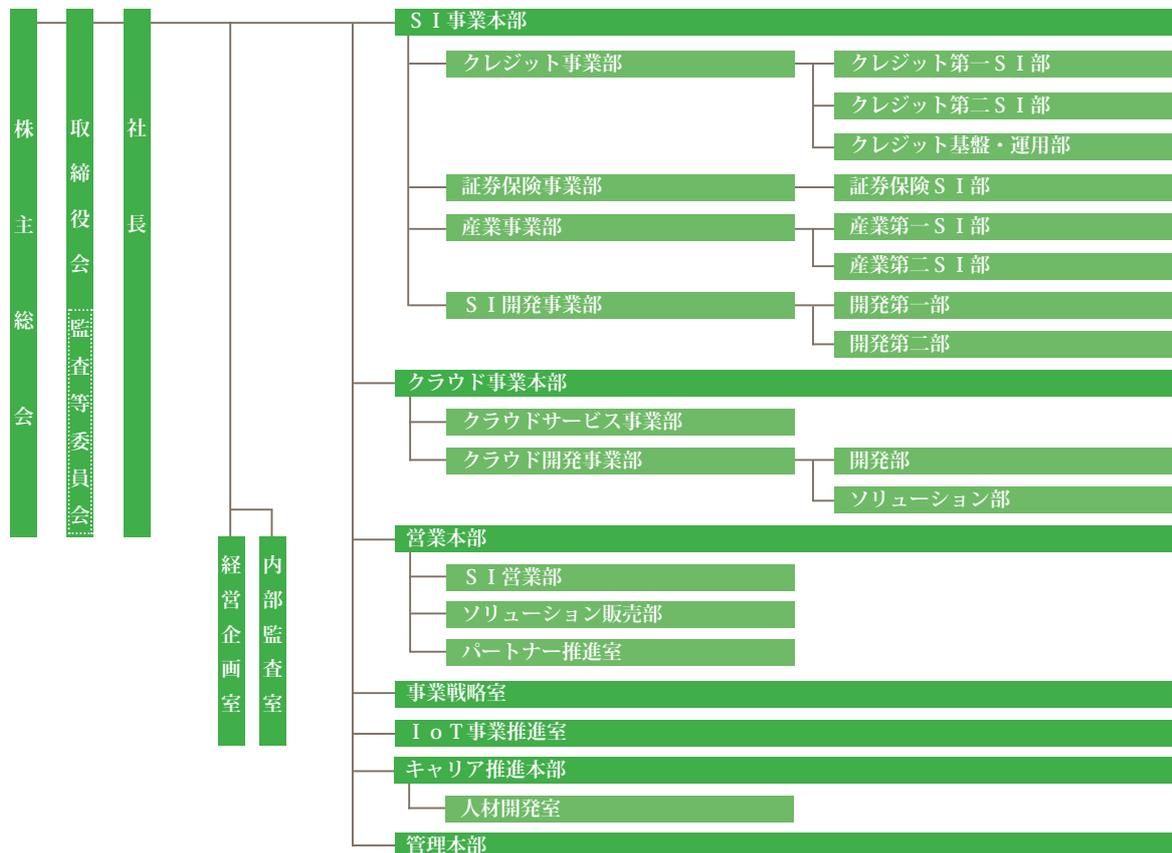
役員一覧

2020年4月1日現在 (注)

代表取締役社長	長尾 章	
常務取締役	萱沼 利彦	クラウド事業本部長 兼 キャリア推進本部長 兼 人材開発室長
常務取締役	長尾 義昭	SI事業本部長 兼 営業本部長
常務取締役	秋山 博紀	経営企画室長
取締役	小森 由夫	SI事業本部副本部長 兼 証券保険事業部長
取締役	金成 宏季	管理本部長
取締役	渡辺 博之	
取締役	樺嶋 利保	SI事業本部副本部長
取締役	江口 健也	クラウド事業本部副本部長 兼 クラウド開発事業部長
取締役	市川 恒和	事業戦略室長
取締役	石田 穂積	常勤監査等委員
取締役	中田 喜與美	監査等委員
取締役	前田 裕次	監査等委員
取締役	佐野 芳孝	監査等委員

組織図

2020年4月1日現在 (注)



(注) 2020年4月1日付の役員異動、組織変更を反映しております。

お問い合わせ先

株式会社 ソルクシーズ 経営企画室 秋山

E-mail: ir-post@solxyz.co.jp

Tel: 03-6722-5011

Fax: 03-6722-5021

<https://www.solxyz.co.jp>

見通しに関する注意事項

当資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関する情報は、当資料作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で行った判断に基づくものです。

しかしながら、実際には通常予測し得ないような特別事情の発生または通常予測し得ないような結果の発生等により、当資料記載の業績見通しとは異なるリスクを含んでおります。

当社は、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的開示に努めてまいります。当資料記載の業績見通しのみには全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願いいたします。

なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複製、または転送等を行われぬようお願いいたします。



SOLXYZ

究極の問題解決を提供する会社へ

SOLXYZとは究極（XYZ）の問題解決（Solution）を提供したいという
願いを込めた社名です。私たちはお客様の夢を実現する
ソリューション・カンパニーを目指します。

<https://www.solxyz.co.jp>